

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 6 号

令和元年 11 月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

学校づくりへの取組

2 学期始業式

◇ 後半戦のスタート ～めあてを立てよう～

2 学期がスタートし 1 か月が過ぎました。

10 月 17 日の始業式では、学年代表の 3 人が、2 学期に楽しんでいることやがんばりたいことを発表しました。どの児童からも自分をさらに高めようとする意欲を感じました。

文化の秋・スポーツの秋・読書の秋

◇ うつのみや百人一首市民大会への参加

今年度のうつのみや百人一首大会に本校では、「海道ちはやふる」と「ゆきみだいふく」の 2 チームが出場しました。昼休みや業間の休み時間に先生方の指導を受け、練習を重ね全校児童の前で壮行会を行いました。この大会は今年で 25 回目の節目を迎えることもあり、参加者全員でギネスに挑戦し、見事達成しました。本戦では、本校の 2 チームは、健闘したものの僅差で午後の決勝リーグ進出はなりませんでした。今後も、「百人一首のまち宇都宮」の市民の一員として、ぜひ、たくさんの児童に経験させていきたいと思います。

(海道小壮行会 10 月 25 日 うつのみや百人一首市民大会 10 月 27 日 ブレックスアリーナ)



◇ 宇都宮市陸上競技大会

10 月 31 日、宇都宮市陸上競技大会が、新しく改装された栃木県総合運動公園陸上競技場（西川田町）で行われました。当日に向けて朝や放課後の時間を利用し選手たちは一生懸命練習を続けました。

大会前のロング昼休みには、全校児童による陸上大会壮行会が校庭で行われ、リレー選手による試走に歓声があがりました。代表児童や全校児童の心のこもった応援のおかげで、選手のみんは、精一杯がんばることができました。



よく考える子ども ～本年度の重点～

◇ 授業研究会（11月5日）

本校では、「自ら学び、生き生きと表現する児童の育成」に向け、算数を中心に「互いに認め合い、たくましく生きる子どもを目指した授業づくり」を行っています。

5日には、宇都宮市教育委員会から指導主事を迎えて、1年生の「たしざん」、5年生の「割合」の研究授業が行われました。どちらの授業も、児童から、深く考えられた発言やグループの中の活発な話し合いが見られました。

また、わかば学級でも、鈴木先生による「人権教育」についての授業が行われました。



進んではたらく子ども

◇ さつまいも掘り（11月21日）

5月に苗を植え、収穫の時期を迎えました。先生に指導を受け、苗植えと同様に、1・6年、2・5年、3・4年でペアを組み、力を合わせて作業をしました。

丁寧に掘って取り上げ、収穫の喜び、働く意義、食の大切さなどを学びました。今後、なわとび・焼きいも集会と給食の食材として食べる予定です。



地域や社会との連携

◇ 第3回地域協議会（11月15日）

今年度の地域協議会も3回目を迎え、今回は、給食の試食と各学級の給食の配膳の様子や5時間目の授業を参観していただきました。

また、11月24日（日）に南図書館で行われた「うつのみや人づくりフォーラム」の中で、ボランティアの星野さんと佐藤さんが教育支援功労者表彰を受けました。おめでとうございます。これからもよろしくお願いいたします。



合言葉「おかげです」～学校の取り組み～



1年生「音楽集会」



中学生「宮っ子チャレンジ」



「青パト」による下校指導



市P連バレー大会



海道キッズ「劇の発表」

